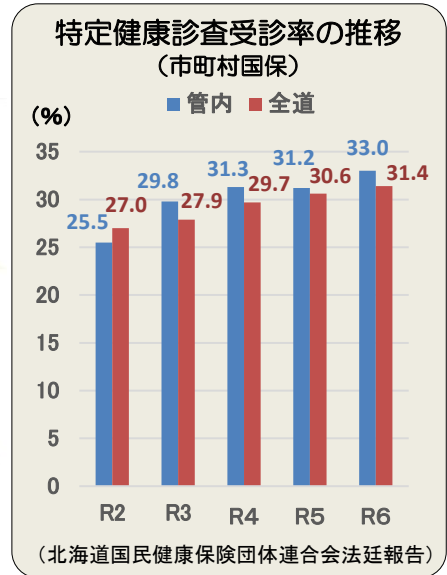
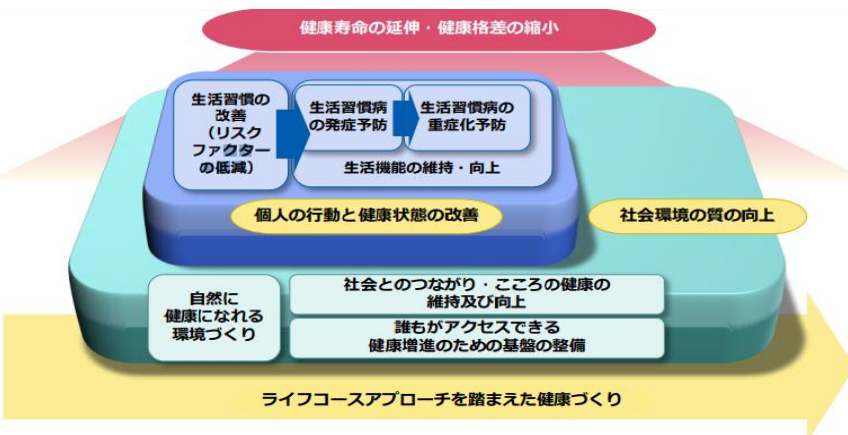


保健・医療

宗谷地域は、広域分散型の集落が多く、高齢化や過疎化が顕著。生活習慣病の有病率が高く、がん検診や歯科保健の受診率が低い状況。生活習慣病の重症化予防やフレイル予防、がん検診などの受診率向上が重要な課題。また、精神保健や自殺予防への取り組みも継続的な課題であることから、市町村や関係機関と連携し、地域の特性に応じた健康づくりや支援体制の整備が求められている。医療従事者の慢性的な不足や地方偏在、循環器内科医師の不足等による重篤・重症救急患者の隣接圏域等へのドクターヘリ搬送に頼らざるを得ない地理的条件や救急医療体制であるため、地域医療の充実が求められる。

健康づくりの目指す姿

生活習慣病の発症と重症化リスクの早期発見を図る上で重要な特定健康診査の受診率（市町村国保のみ）は令和6年度においては全道より高い状況にありますが、厚生労働省が設定する目標値70%に達していないため、市町村等との連携のもと受診率のさらなる向上を図りつつ、生活習慣の改善に向けた各種の取組により、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指しています。



医療の現状・取組

少子高齢化が進行する中、バランスのとれた切れ目のない医療・介護の提供体制を構築するため、「宗谷圏域地域医療構想」を策定し、市町村や医療関係機関協力の下、構想実現に向けた取組を行っています。

管内での医師や看護師をはじめ様々な医療従事者の不足が課題となっており、医療従事者への取材やパンフレットの作成など、総合的な確保対策に取り組んでいます。



R5年度作成パンフレット

宗谷で活躍する道外出身者の声

古武医師に聞いてみた!
中頓別町国民健康保険病院 医師 古武 達也 さん
出身地: 東京都

Q.中頓別に来たきっかけはありますか?
A. 以前、大手企業の勤務中、中頓別の国民健康保険病院の医師の紹介を受け、診療機会が多量に発生した。その後も所長が診療の意欲に訴れ、その際に町長から熱心な支援を受け、大学病院での仕事が一掃された。この時に赴任しました。

Q.力をいれている・入れたい領域はありますか?
A. 病院を単なる検査や治療の場だけでなく、何かを学ぶ場や生活の場にもしたい。例えば、子育てが楽で病院で生活できるような環境を整えたい。また、地域と交流できる場所としての役割を果たしたいと考えています。

Q.宗谷圏域をよりよくするためにどのような思いを語ってください?
A. 小さな病院ではありますが、高度な医療を提供することが願いです。しかし、まだ目指すべき課題は多くあります。自分たちの得意分野だけでなく、地域全体の課題を解決したいと考えています。宗谷はサステナブルな地域であるべきです。自分たちの得意分野だけでなく、地域全体の課題を解決したいと考えています。宗谷さんが病院を愛護して欲しい。全力で取り組んでいきたいです。

宗谷圏域内市町村の医学情報
市町村における医師確保を目標とする取組を効果とした研修生派遣事業
https://www.soyakou.jp/kyouiku/kyouiku.html

医療施設数 (か所)

	病院	一般診療所	歯科診療所
宗谷	8	44	26
全道	535	3,436	2,784

令和4年10月1日現在

医療従事者数 (人)

	医師	歯科医師	看護師	准看護師	保健師	助産師
宗谷	70 (107.1)	24 (40.2)	528 (854.7)	97 (143.5)	85 (139.2)	13 (22.2)
全道	13,613 (264.8)	4,302 (83.7)	67,176 (1,214.3)	13,065 (224.7)	3,288 (59.6)	1,571 (28.5)

医療従事者数 令和4年12月末現在

()内 人口10万人に対する医療従事者の比率 令和4年10月1日現在の人口により算出